

道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道路事業の再評価概要書			番号	
			事業主体	栃木県
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般県道 築地吉水線 <small>ついでよしみず</small>		事業箇所名	佐野市 築地工区 <small>さのついで</small>
事業区間	佐野市築地町～中町 <small>ついでちやう なかちやう</small>		事業延長	2,700m
H26年度事業化		H26年度用地着手		H29年度工事着手
事業期間	(R5) H26年度～R12年度		事業進捗状況	基準年次：【令和5年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[10.2 (9.2)億円]		[うち用地補償費]	[2.5億円] [25%]
全体事業費	29.0 (24.0)億円		既投資事業費	5.7億円 20%
事業概要				
<p>一般県道築地吉水線は、佐野市北部の葛生地区と田沼地区を結ぶ幹線道路であり、都市計画道路3・5・301号築地吉水線として平成24年度に計画決定された地域の産業や生活を支える道路である。</p> <p>また、本事業箇所においては、並行する国道293号及び主要地方道佐野田沼線のバイパスとしての機能が見込まれており、並行する国道等からの交通転換により、地域における渋滞緩和や葛生地区の市街地内に流入する大型車の抑制効果が期待される。</p> <p>県では、これまで本事業箇所とあわせて、南側に接続する中工区(0.7km)の現道拡幅整備を進めており、令和4年12月に供用開始を図ることができた。</p> <p>本事業箇所の整備を進めることで、本路線が全線開通となり、道路ネットワークが強化されるほか、安全で円滑な通行の確保、地域間の交流連携の促進、産業支援などを図るものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更等				
<ul style="list-style-type: none"> ・労務資材単価の高騰等による増額(工事・用地) 24.0億円⇒29.0億円(+5億円) ・用地取得に時間を要するため事業期間見直し 令和5年度⇒令和12年度 				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果				
		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
(1) 事業全体		B/C = 1.6	42.0億円	26.0億円
(2) 残事業		B/C = 2.2	42.0億円	20.0億円
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ① 道路ネットワークの強化による地域間の交流連携の促進及び産業支援 ② 渋滞緩和による交通の円滑化 ③ 市街地外に大型車等の通過交通を転換することにより、安全、安心な交通環境の確保 				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業箇所の南側に接続する中工区(0.7km)の拡幅整備が完了 ・昨年度までに、一般県道柏倉葛生線交差点付近(240m)の工事を実施 				
2 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得、道路改良工事等を推進し、令和12年度までに全線供用予定 				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減 				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは都市計画道路3・5・301 築地吉水線を基本としている。用地取得が25%完了しており、工事も一部実施していることから、代替案立案は困難である。 				
事業の対応方針(案)		本計画で事業を継続する。		



栃木県公共事業再評価 概要書

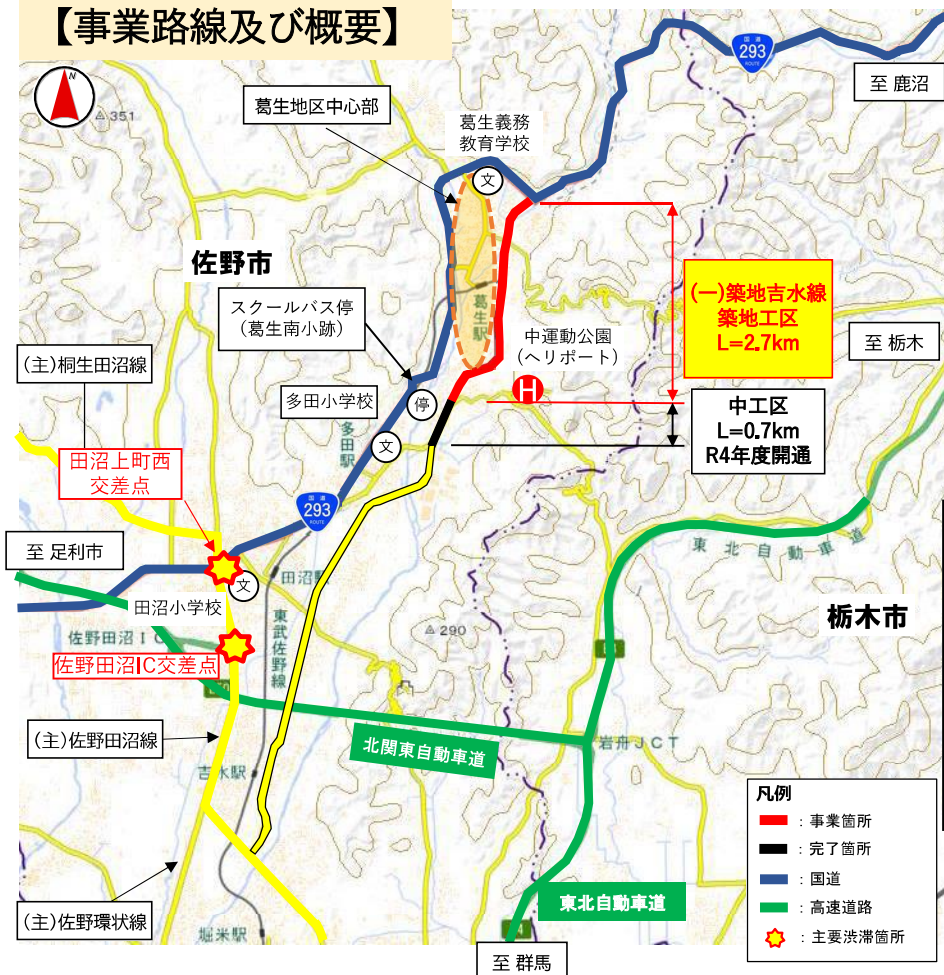
【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般県道築地吉水線 築地工区 佐野市築地町～中町
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

1

I 事業の概要

【事業路線及び概要】

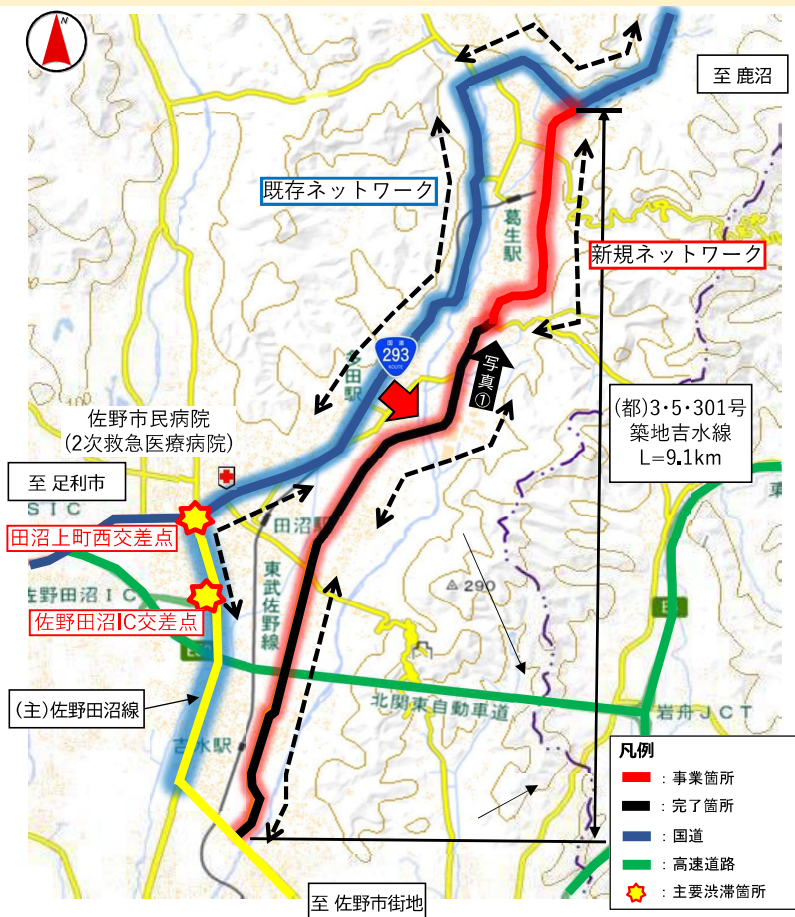


佐野市北部の葛生地区と田沼地区を結ぶ幹線道路であり、都市計画道路3・5・301号築地吉水線として計画決定された地域の産業や生活を支える道路である。

2

I 事業の概要

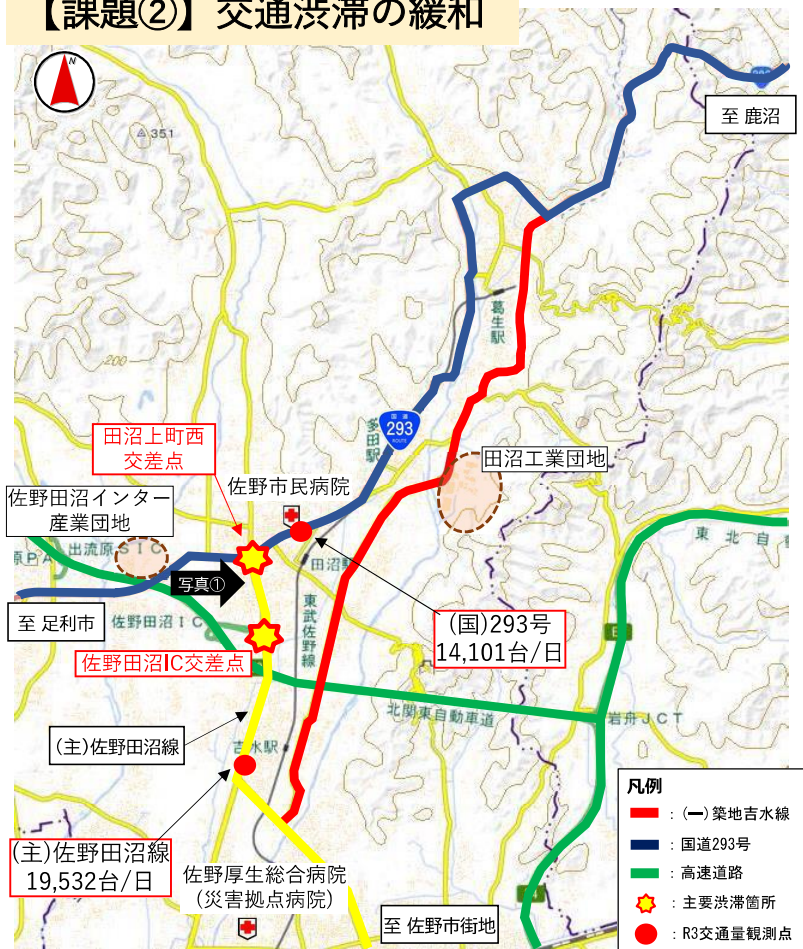
【課題①】 道路ネットワークの強化による交通円滑化や防災機能の向上



本路線は、交通量の多い国道293号や県道佐野田沼線と並行して整備される新設道路であり、全線の整備完了により、交通転換が図られる。
 また、本地域における道路ネットワークの強化による防災機能の向上が必要である。

I 事業の概要

【課題②】 交通渋滞の緩和



並行する国道293号や県道佐野田沼線では、朝夕は通勤通学、日中は大型車による通行が多く、慢性的な渋滞が発生している。そのため、円滑な通行の確保が必要である。
 ・田沼上町西交差点など2箇所が主要渋滞箇所に指定

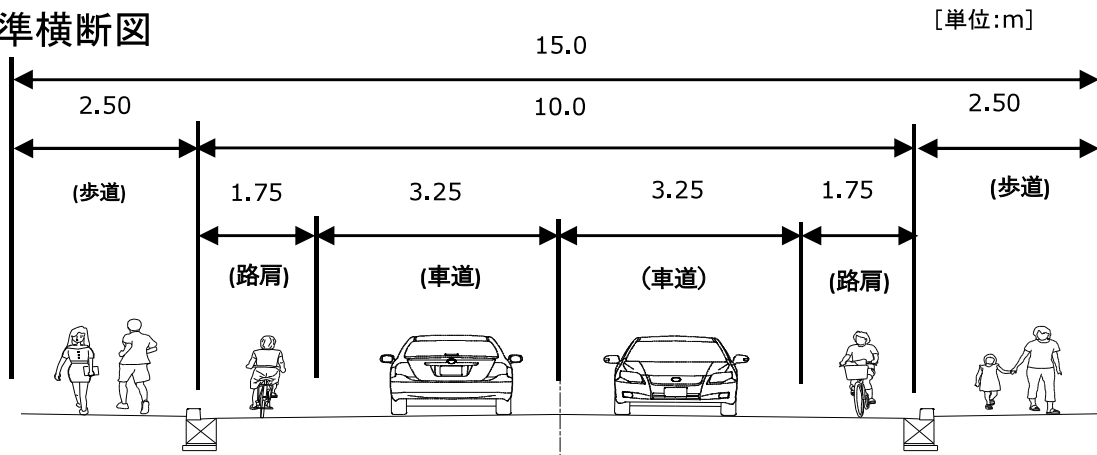
I 事業の概要

【計画概要】

■計画諸元

延長	: 2.7km
全幅員	: 15.0m
車線数	: 2車線
道路区分	: 3種2級
計画交通量	: 7,800台/日
設計速度	: 60 km/h

■標準横断図



7

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

■事業進捗率 20% (事業費ベース)

(1) 用地進捗状況

総地権者数 115名 用地進捗率 25% (事業費ベース)

うち残地権者数 102名

(2) 工事進捗状況

工事進捗率 17% (事業費ベース)



8

II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- 事業期間(完了時期)を見直し 令和5年度 ⇒ 令和12年度

 前回計画
  今回計画

前回完了予定

今回完了予定

	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
設計・協議 (南側区間)	←→																
用地	←→																
工事				←→													

- 延伸の理由
 地元関係者との設計協議及び用地取得に時間を要するため
- 今後の見通し
 令和10年度までに用地取得を完了し、令和12年度に完成予定

9

II 事業の評価

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (H25年度)	⇒	今回計画
	事業費	24.0億円	⇒	29.0億円 (+ 5.0億円)
内	工事費	14.8億円	⇒	18.8億円 (+ 4.0億円)
訳	用地補償費	9.2億円	⇒	10.2億円 (+ 1.0億円)

■ 工事費の増額

- ① 調整池整備による工事費の増額 + 2.0億円
- ② 労務資材単価の高騰等による増額 + 2.0億円

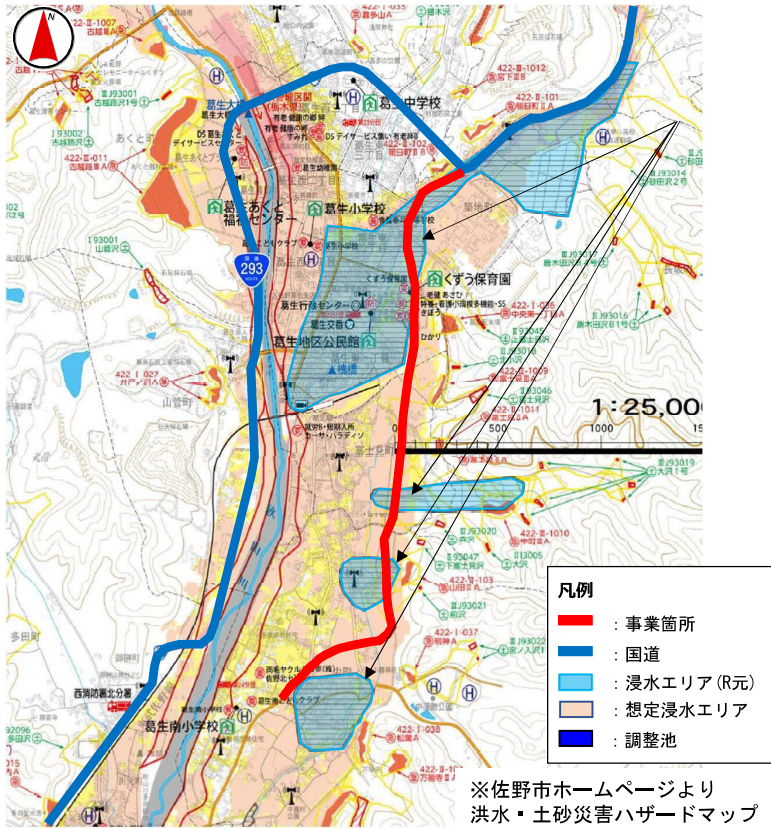
■ 用地補償費の増額

- ① 住宅建築資材等の高騰による増額 + 1.0億円

Ⅱ 事業の評価

【全体事業費の見直し】

- 【工事①】 調整池整備による工事費の増額 +2.0億円



「令和元年東日本台風」により、本路線周辺の民家や田畑が浸水を受けた。



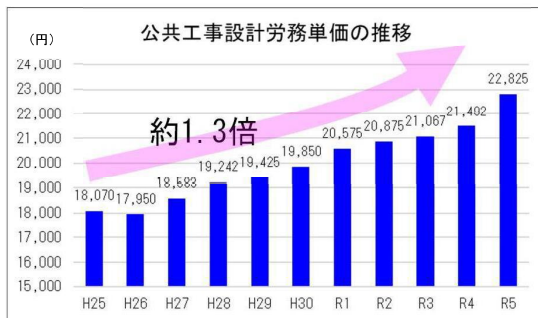
道路整備による雨水排水の流量増加を抑制するために、調整池を設置

11

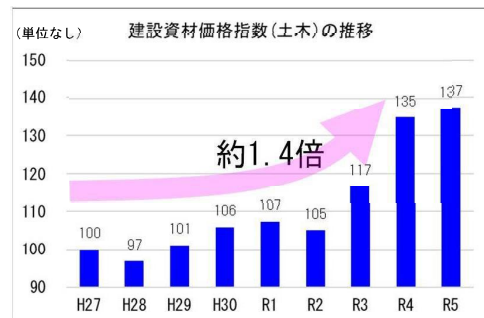
Ⅱ 事業の評価

【全体事業費の見直し】

- 【工事②】 労務資材単価の高騰等による増額 +2.0億円

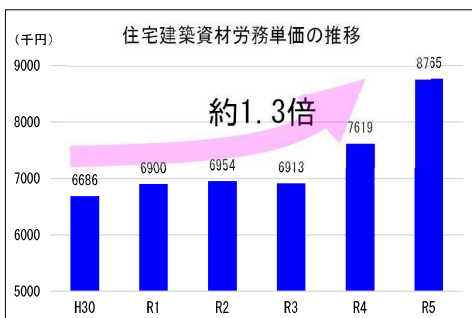


※栃木県 公共工事設計労務単価表より
主要12職種の平均値



※一般財団法人経済調査会ホームページより
H27を基準(100)とした場合の宇都宮におけるセメント、生コンクリート、骨材、瀝青材、普通鋼材の平均値

- 【用地】 住宅建築資材の高騰等による増額 +1.0億円



※関東地区用地対策連絡協議会資料より
木造工事及び鉄骨工事の労務資材単価

12

II 事業の評価

【事業の投資効果】

費用対効果分析結果

	B / C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	1.6	42億円	26億円
(2) 残事業	2.2	42億円	20億円

注) B/Cの値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある



十分な投資効果が得られる見込み

道路事業における便益

交通解析等の手法により、当該事業の有無による交通量や速度変化などの差分を計測し、貨幣換算したもの

⇒ 「**走行時間短縮**・**走行経費削減**・**交通事故減少**」の便益を合算して算出

13

II 事業の評価

【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減
- 建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減

2 代替案立案等の可能性

- ルートは都市計画道路3・5・301築地吉水線を基本としている。
- 用地取得が25%完了しており、工事も一部実施していることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。

14